

目 次

空港土木施設耐震設計要領

第1章 総則

1.1 目的	1
1.2 適用範囲	1
1.3 用語	1

第2章 耐震設計の基本

2.1 総説	2
2.2 輸送形態に応じた空港土木施設の耐震性能	3
2.3 空港土木施設の耐震性能	3

第3章 耐震性能の照査方法

3.1 総説	6
3.2 設計限界値	7
3.3 地震動	12
3.4 液状化の予測・判定	13
3.5 土圧	14
3.6 設計応答値	14

第4章 液状化対策

4.1 総説	16
4.2 対策範囲	16
4.3 対策レベル	16
4.4 液状化対策の照査	17

参考文献	18
------	----

付 録

付録-1. 地盤の地震応答解析法の種類と概要	付 1
付録-2. 構造物の耐震解析法の種類と概要	付 7
付録-3. 二次元地盤の等価線形解析と舗装構造の弾塑性解析を組み合わせた解析法	付 16
付録-4. 空港で利用される可能性の高い液状化対策工法の概要	付 19
付録-5. 液状化対策工法の選定・照査	付 26
付録-6. 二次元地盤の有効応力解析と橋梁構造の弾塑性解析を組み合わせた解析法の例	付 32
付録-7. 空港舗装直下地盤への格子状地盤改良の適用	付 37

設計例等

例-1. 耐震性能検討に係る空港施設の地震被害事例	例 1-1
例-2. 入力地震動の設定事例	例 2-1
例-3. 液状化対策範囲の検討例	例 3-1